



平成28年5月12日

各 位

上場会社名 株式会社 東京機械製作所
 代表者 代表取締役社長 芝 龍太郎
 (コード番号 6335)
 問合せ先責任者 常務執行役員総務部長兼経理部長 根本 伸
 (TEL 03-3451-8154)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年11月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,210	△2,270	△2,110	△2,140	△24.50
今回修正予想(B)	8,750	△3,290	△3,170	△5,110	△58.52
増減額(B-A)	△460	△1,020	△1,060	△2,970	
増減率(%)	△4.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	8,088	△1,244	△867	△121	△1.38

修正の理由

平成28年3月期連結会計年度の業績につきましては、新聞印刷業界において更新需要が増加しつつあるものの、売上・採算どちらの面でも厳しい状況が続いております。

このため当第4四半期連結会計期間において、厳しい事業環境に対応するため、当社固定資産の減損損失計上をはじめ、来期以降の業績回復に向けた財務改善のための取り組みを行いました。

この結果、売上高につきましては前回公表値から若干の減少にとどまったものの、利益面につきましては、営業利益、経常利益は、デジタル印刷機の在庫評価を保守的に見積り、棚卸資産の評価損(785百万円)を計上したことから、売上原価が悪化し、これを主因に前回公表値を下方修正いたします。親会社株主に帰属する当期純利益は、印刷機械関連事業用資産の減損損失(1,778百万円)計上及び第3四半期連結会計期間に特許訴訟損害賠償金(107百万円)を計上したことにより、前回公表値を大きく下回る見込みです。

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上